

語学研修に参加してできた素敵な経験

約3週間のアルバータ語学研修を通して、私は、伝える努力をすることの大切さを学ぶことができました。

カナダでは、ホームステイ先や学校、買い物先など、どこにいても絶対に英語を話さなければならない環境であるため、物事に対して、英語ではどのように言うのかを常に考えて生活していました。聞きたいことがあっても、うまく言葉にすることができず、相手に伝わらないことも時々あり、日本語を使えない生活はとても難しいものだと実感しました。

例えばカナダでの授業は、ポスターや動画を作成しての発表、グループワークなどのアクティビティが非常に活発で、私にとって、とても新鮮で楽しいものでした。はじめは、「もし自分の英語が間違っていたらどうしよう」と緊張や不安を抱えて授業に参加していました。また、ホームステイ先では、6人のホストファミリーに加え、その友人らなど、家には常にたくさんの方がおり、毎日が賑やかで楽しいものでした。しかし、私はその輪の中で話すことに対して、自分の拙い英語を使って話さなければならないという緊張感と羞恥心があり、いつも相槌を打つことだけで精一杯になってしまい、なかなか会話に入ることができませんでした。しかし、そんな私に、学校の先生やホストファミリーが「Don't be shy! Talk more!」と笑顔で言ってくれたことや、毎日帰宅後に、その日の出来事などを話す時間やゆっくり会話する時間を作ってくれたことによって、英語を使って気持ちを伝えることに少しずつ抵抗が無くなりました。たとえ上手く話せなかったとしても、一生懸命私の話を聞いて、言いたいことを汲み取ろうとしてくれたことや、ゆっくりでいいよと言ってくれたその優しさにとっても気持ちが救われました。その後は毎日家族とたくさん話をしたことによって、さらに仲を深めることができたほか、店員さんや道で声をかけてくれた人、アルバータ大学の学生さんなど多くの人と会話することができました。周りの人のたくさんの優しさに触れながら、自分でも恥ずかしがらずに英語で気持ちを伝える努力をしたことによって、この3週間でさらに楽しいものとなりました。

今回の研修先であるカナダのエドモントンという場所で私が1番印象に残っているのは、絵に描いたような美しい空が毎日広がっていることです。お昼は鮮やかな青空が広がることが多く、夕日が沈むときは赤やオレンジ、ピンク、紫など、空がとても鮮やかに彩られますが、夜に雨が降った日は、稲妻が空を横に切るように走っており、1日の中で空の表情が大きく異なり、私はそこに、日本では見ることのできないような景色の美しさを感じました。

以上のように、とても素敵な、ホストファミリーや学校の先生、出会ったすべての人々と景色に囲まれながら生活することができたおかげで、初めての外国、ホームステイ、学校など、カナダでの生活の記憶すべてが素敵なものになりました。今回の研修に参加すると決めた時は不安が多くありましたが、実際に参加してみて、本当に良かったと強く感じました。